

令和元年度 京の川の恵みを活かす会 事業実施報告書

【多面的機能発揮事業として実施された活動報告】

■多様な魚種のための道づくり

◎三条落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和元年5月15日（水） 9:00～13:00

場 所：三条落差工・右岸（京都市中京区石屋町） 参加者：16名

内 容：9時に集合し、図面をもとに作業を開始した。三条落差工では上下の落差工に魚道を2基制作した。右岸には観光客が多く訪れるため、昨年と同様、魚道を遡上するアユを市民や観光客が観察できるような魚道とした。



◎荒神口落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和元年5月27日（月） 9:00～13:30

場 所：荒神口落差工・右岸（京都市上京区上生州町）

参加者：20名

内 容：9時に集合し、図面をもとに作業を開始した。丸太町落差工に設置した木組み箱型魚道に斜路を付けた「木組み斜路式箱型魚道」を設置した。斜路に付ける丸太の配置については、昨年度に荒神口落差工の仮設魚道内に設置した斜路の結果を踏まえ再検討した結果、「斜め切り丸太付き斜路」を作製し箱型魚道に設置した。



◎丸太町落差工に仮設魚道を設置

日 時：令和元年5月29日（水） 9:00～13:30

場 所：丸太町落差工・左岸（京都市左京区下堤町）

参加者：22名

内 容：丸太町落差工については、昨年度と同じスギの角材を使った「木組み階段式箱型魚道」を設置した。



◎魚類遡上調査を実施

日 時：令和元年5月16日（木）～7月31日（月）

場 所および参加者：

今井堰（京都市伏見区竹田青池町）

調査協力者数：のべ72名

桂川3号井堰（京都市右京区・西京区）

調査協力者数：のべ38名

合計：のべ110名

内 容：鴨川及び桂川の天然アユ等の遡上状況を把握するため、遡上する魚類数の調査を行った。大阪湾から鴨川に遡上してくる魚類の総数を表すのに重要な今井堰においては、活かす会会員の京淀川漁業協同組合の皆さま、サポーターを中心にほぼ毎日調査員が配置された。なお、また桂川3号井堰では、井堰において遡上調査に加えて、魚類の汲み上げ調査も行った。

結果は、今井堰4240（そのうちアユは848）尾、桂川の3号井堰も総数で470（そのうちアユは421）尾であった。



◎三条落差工・丸太町落差工仮設魚道を撤去

日 時：令和元年 11 月 5 日（火） 9:00~12:00

場 所：三条落差工・左岸及び丸太町落差工・左岸

参加者：12 名

内 容：魚道の撤去を行うとともに、魚道設置場所付近の清掃活動を併せて実施した。



◎荒神口落差工仮設魚道を撤去

日 時：令和元年 11 月 6 日（水） 9:00~10:30

場 所：荒神口落差工・右岸

参加者：12 名

内 容：魚道の撤去を行った。

